

プロジェクトリーダー：愛知工業大学 工学部 武田美恵教授

事業実績調書

(1) プロジェクト名	外国人集住団地における交流と教育に関する研究
(2) プロジェクトの成果（※そのような成果が得られたかについて具体的に記載）	<p>アンケート結果から、在留外国人がイベントに出店したい理由として最も多いのは、「稼ぎたい」、次に「たくさんの人々に自国の文化について知ってもらいたい」、「たくさんの人々と関わりたいという」という順となり、出店できる内容としては、「自国の料理を提供できる」、「自国の文化・言語を教えることができる」といった回答が多かった。そのためイベントを行う際には、自国の文化を提供し合うイベントを行うことが最も良いと考えられる。また、在留外国人が望むイベントとして回答が多い順に、パンマーケット、健康相談ブース、世界の朝食マーケットという結果となった。このことから、朝食は提供しやすく、外国人からも人気であることが分かった。</p> <p>イベントを行うにあたって、教会に通うペルー人の礼拝団体が自国の料理を提供してくれることを約束してくれている。</p> <p>在留外国人の日本語能力として、聞き取りや、話すことに関しては、特に問題は無い一方で、読むことに関して困難な外国人が多くいたことから、読ませるという情報提供では無く、見る、聞くといった情報提供が有効である。</p> <p>在留外国人の地域の日本人との関わりの程度、地域の日本人以外の外国人との関わりの程度について調査したところ、同国籍の人としか関わらない人は、「日本語が分からない」ことが地域の日本人との関わらない原因であるということが分かった。</p>
(3) プロジェクト実施内容（※事業の実施方法、時期、場所、回数、市民への周知方法、参加人員等を含め、その内容を具体的に記載）	<p>調査日：2021年8月6日</p> <p>パルティセと にほんごオアシスにてアンケート調査を実施した。</p> <p>調査期間：2021年10月12～12月24（計9日）</p> <p>萩山公民館長, 萩山公民館を利用する外国人団体利用、瀬戸キリスト教会牧師, 新郷地域交流センター「さとの家」外国人利用者団体、ブラジル人学校・日本語教室コーディネーター, 萩山小学校校長・教頭・萩山小学校に通う生徒の保護者に対してアンケート及びヒアリング調査を実施した。</p> <p>アンケートは、平成27年度萩山小学校、平成27年度菱野団地の外国籍でフィリピン人最も多く、次にペルー人、ブラジル人といった情報から、日本語でアンケートを作成し、英語・ポルトガル語・タガログ語・スペイン語に翻訳した。回収方法としては、各施設の代表者に、アンケート用紙を渡し、大人の外国人に配布・回収してもらい、後日、受け取った。アンケートは36名に配布し回収数33名であった。</p>
(4) プロジェクトの今後の課題と展望	<p>萩山小学校を利用して、在留外国人が主体となって行うイベント実現が可能であったが、コロナが理由で実施には至らなかった。コロナが収まれば実施したいと考えている。</p>